

江戸川学園取手高等学校

調理同好会

高校生ボランティア・アワード2021

活動内容

私たち調理同好会は、2018年度より「江戸取フードドライブ」、2019年度より「多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～」に取り組んできました。

江戸取フードドライブ（2018年～）

「江戸取フードドライブ」とは、家庭で余った食品のうち、賞味期限が2ヶ月以上あり、常温で保存できる物を各家庭から持ってきていただき、その後部員の手により箱詰めをしフードドライブの事務所に送り、そこから各団体へ寄付するという取り組みです。この活動では、毎年多くの寄付をいただいています。

多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～（2019年）

この活動では、市内に住む外国の方と一緒に調理をすることで、外国の方に分かりやすい「やさしい日本語」や「多文化共生とは何か」を考える良い機会となりました。



フードドライブ活動（2020年度）



回収の様子



仕訳・箱詰めの様子



多文化共生～取手市内に住む外国の方と料理を作ろう～活動（2019年）



「もったいないをありがとう！」が合言葉

「もったいないをありがとう！」を合言葉に、2018年度からスタートしたフードドライブ活動ですが、2020年12月に第3回目を実施しました。

2020年は新型コロナウイルスが猛威を振るった年であり、その影響で食べることに困窮している人が激増しました。例年はフードバンク茨城を実際に訪れて話を伺ったり、手伝ったりしていましたが、その活動も中止になってしまった上に、調理同好会としての本来の調理活動が全く行えない中ではありましたが、**このような時だからこそフードドライブは必要な活動であると部員一同感染対策を徹底しながら5日間実施しました。**

2020年度は**257kgもの食品の寄付**が集まり、食品はすべてNPO法人フードバンク茨城に寄付させて頂きました。そこから生活困窮世帯や福祉施設に提供させて頂きました。

江戸取では年々校内でのフードドライブの認知度が上がり、初年度の認知度は32%だったのですが、2020年度では97%に上がり、生徒のみなさんの協力度も高く、**ボランティア活動は継続してこそ意味がある**ということを再認識できました。

2020年度フードドライブ活動を終えて

2020年度は皆さんの厚意により、257kgの食品の寄付が集まりましたが、実はこの結果は3年前の寄付330kgを下回るものでした。実際に、回収活動を行っている際には、「家に寄付する食品がない」という声が寄せられていました。

このフードドライブでは、生活困窮世帯や福祉施設などに余っている食品を寄付するという活動をしていますが、**食品ロスを減らすことが本来の目的**となっています。世界中で食品ロスの認知度が上がり、各家庭で無駄な食品の在庫を持たないようになってきています。そこで江戸取の2020年度の食品回収量が初年度よりも減っているという結果は、逆に各家庭での食品ロスが減り、寄付したくても寄付する食品がないという**喜ばしい結果**だと受け止めています。単に数字だけを見て、**回収量が多ければ多いほど良い**ということではないのです。

フードドライブ活動を通して、活動内容を広めると同時に、**本来の目的である食品ロスをなくそうという活動も平行してやっていくことが、私たち調理同好会のこれからの役割だ**と思っています。

今後の展望・夢

私たち調理同好会は、数年前までは月に一回程度の割合で集まり、和気あいあいとしそめんをしたり、文化祭では屋台を出して食べ物を買ったりする、校内ではあまり目立たない同好会でした。しかし3年前に先輩方の「**何か我々ができることはないか**」という思いのもとでフードドライブ活動が始まり、その結果校内の調理同好会の活動の認知度も上がり、一層フードドライブ活動が支援されるようになりました。

今後は、先輩方からの伝統を引き継ぎこれからもこのフードドライブ活動を継続するていくことに加え、「食」から始まる**ボランティアの輪**を校内に広げていきたいと思っています。



茨城県青少年育成協会

「令和2年青少年団体等顕彰」

を受賞しました！！

フードドライブ活動により社会貢献を行っている調理同好会は、令和2年青少年団体等顕彰を受賞し、受賞者代表挨拶で調理同好会の先輩が代表のスピーチをしました。

